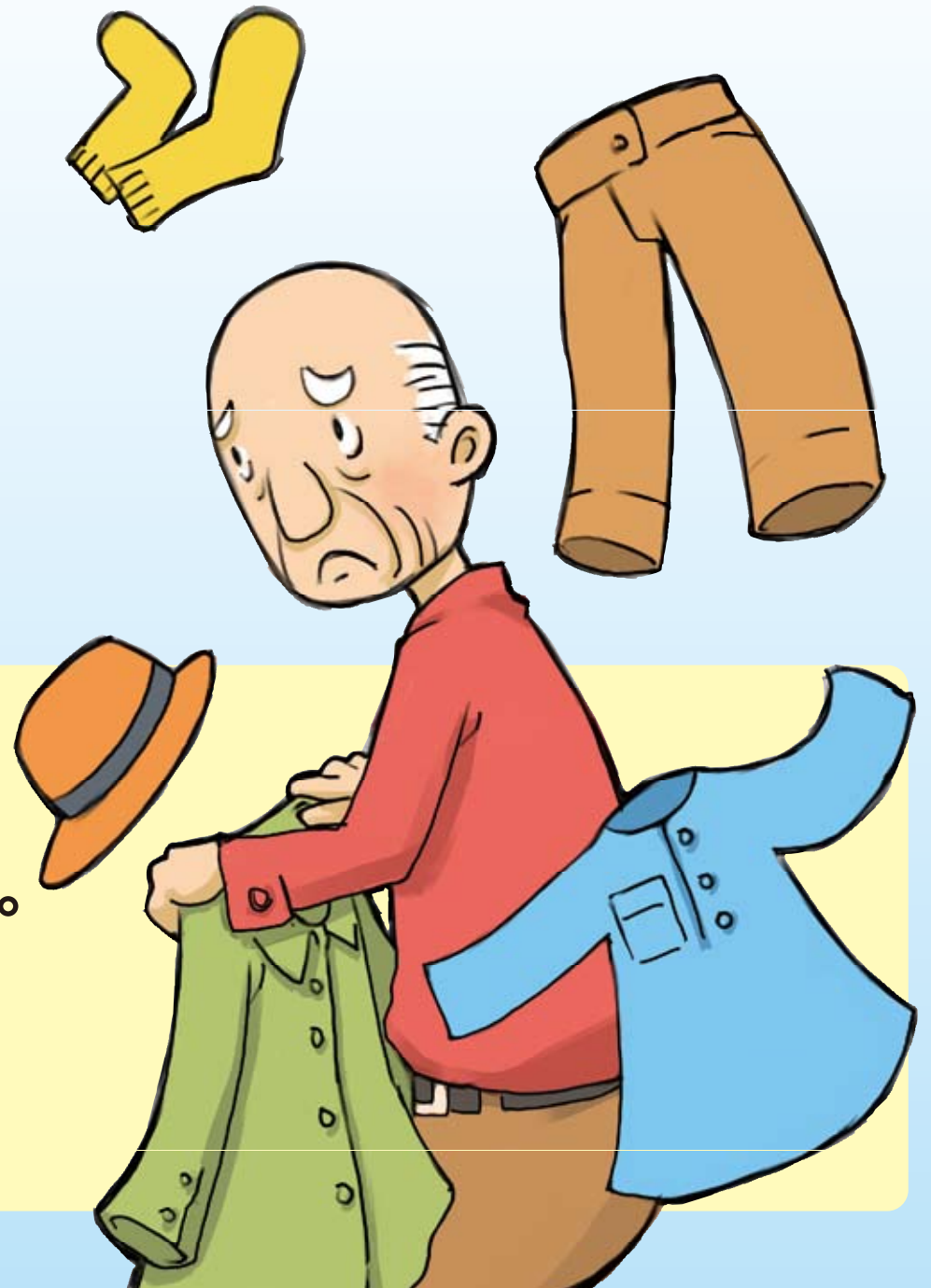


着替えて、と 何回も家族から 言われることが 多いあなたへ

人は歳をとると、着替えも含めて何でもおっくうになりがちです。たまにはおしゃれをして、でかけてみませんか？



ご家族の方へ

認知症が進むと着脱にも時間がかかります。昨日着ていた服も忘れ、同じ服を着たりします。ご家族が服を用意しても、服の着方がわからないので、じっと立っていることもあり、こんな時は本人も混乱したり、戸惑っています。無理に服を着せようとしたり、急がせないようにして、ゆったりと接してください。

- ご家族から言われても、すぐに行動したり、理解することが難しくなります。また、自分の周りで起こっていることが把握できにくくなります。そのため、ご家族が、良かれと思ってすることでも混乱したり、不安になります。
- このようなときは、「ゆっくり」「はっきり」「わかりやすく」を基本に、順序立てて、少しずつ本人の気持ちに向けさせることが大切です。ご家族が、腹を立てたり、無理強いすると、思わぬ行動(叩かれたり等)を引き起こす原因になります。

**「はっきり、ゆっくり、わかりやすく」
一度に伝えるのは1つ**





平成22年

9月

長月



日

月

火

水

木

金

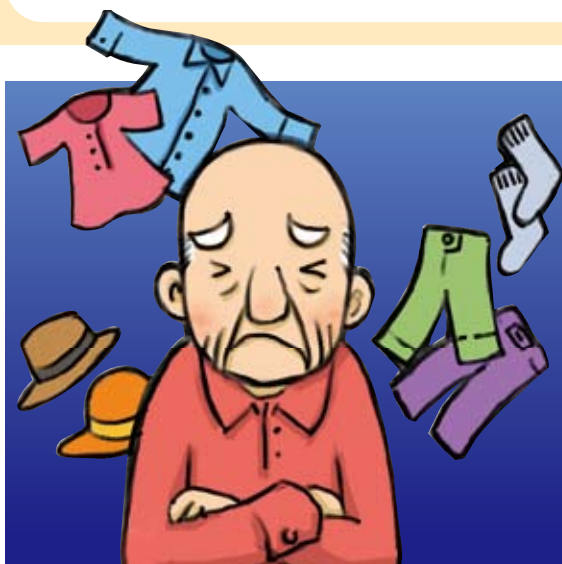
土

			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20 敬老の日	21 世界アルツハイマーデー	22	23 秋分の日	24	25
26	27	28	29	30		

他人の物や、拾ってきた物を持って来ますが、どうしたらいいのでしょうか？

認知症にみられる収集行動は、他人の物と自分の物の判断がつかずトラブルになったり、収集した物を保管する方法によっては、衛生上の問題が発生するなど、生活上の問題となる症状です。

収集したものを保管して自分自身の不安などを緩和し、安心感を得るための行動です。これまで、はた目からみて「意味のない、使えないもの」でも本人にとっては「生活に必要なもの」「大事なもの」「自分のもの」です。無理やり取り上げたり、叱責すると、抵抗したり、興奮することもあります。本人の誇り、尊厳を尊重し、決して人前で恥をかかせないようにしましょう。ご近所の人やお店の人にも事情を説明し、協力と理解をお願いしておくことはいい方法です。



以前と比べてチェックリストのような変化が続くときは、すぐに最寄りの地域包括支援センター（地域によって名前が違うことがあります）や適切な医療機関に相談してみましょう。

もしかしたら認知症の初期かもしれません。でも心配はいりません。早く診断できれば、あなた自身や

ご家族が認知症についてきちんと理解する時間をもて、十分に対応できます。原因によっては治療法があります。

チェックリスト

- 同じことを何度も言うとか聞くと周りから言われることが多い
- いつも捜し物をしていることが多い
- 財布や通帳など大切なものがなくなる
- 約束を忘れたり、待ち合わせの場所に行き着けなかった
- 片付けや料理、運転などが以前のようにうまくできなくなった
- テレビのドラマは筋を追うのが面倒くさい
- 身だしなみを整えることが億劫になり、構わなくなった
- 趣味や好きなことに関心がなくなった
- 何をするのも億劫になった